

世 界 史

(問 題)

2024年度

〈R06183419〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子を持ち帰ること。

I

次の文章を読み、設問X・Yの答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

2000年代はじめ、大気化学者クルツェンは、完新世に続く新たな地質年代として「人新世」(Anthropocene)を提唱した。この名称によって彼が強調したのは、今日の世界において、温室効果ガスの排出をはじめとする人間活動の影響が、地球環境に全面的で不可逆的な影響を及ぼすようになってきているという事実である。この「人新世」の開始時期についてはこれまで、人間が自然環境を組織的に改変するようになった農業の開始、化石燃料の大量消費が始まった産業革命^①、核実験による放射能の拡散や生物種の加速度的な絶滅が始まった20世紀中頃など、いくつかの説が提唱されてきた。

「人新世」概念の問題提起は、人間社会と自然環境の関係に着目して歴史を記述し直そうとする「環境史」と呼ばれる分野とも相通じる。20世紀半ば、16世紀を中心に地中海地域の広域的な歴史を描き出したブローデルは、歴史における自然環境の役割を重視したが、^③そこでの環境は、数百年以上にわたって比較的安定したものとして想定されていた。これに対し今日の環境史は、環境がより短期間で変動することで歴史に影響を与える局面にしばしば着目する。

一例として、古代メソポタミアにおける大規模な灌漑と森林伐採による環境破壊は、シュメール人の都市国家の衰退の一因となったと指摘されている。また、ユカタン半島を中心に栄えた **A** が10世紀前後に衰退したことについても、当時の気候を推定することで、異常気象による乾燥化が原因の一つであったとする説がある。同じように、中世の温暖期の後、19世紀頃まで続いた寒冷期は、今日では「小氷期」として知られている。「小氷期」は、とくにヨーロッパ各地で不作や飢饉を引き起こし、いわゆる「17世紀の危機」の要因の一つとなったとも言われる。

また、15世紀末以降におけるヨーロッパ人の新大陸への進出^⑤も、人間と環境の関わりに大きな変化をもたらすものであった。^⑥しばしば「コロンブス交換」と呼ばれるこのプロセスにおいては、それまでヨーロッパ大陸に存在しなかった農作物がアメリカ大陸からもたらされ、ヨーロッパの人々の生活を大きく変えた。それと同時に、ヨーロッパ人によってアメリカ大陸にはじめて持ち込まれた馬や羊は同大陸の生活様式を大きく変え、同じくヨーロッパからもたらされた天然痘・インフルエンザなどの感染症によって多くの先住民の命が奪われた。

人為的影響による気候変動が国際的な問題となっている今日、人間と自然環境の相互作用に注目する環境史は、これまで以上に重要な分野であると言えるだろう。

設問X 文中の空欄 **A** に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選びなさい。

- a アステカ文明 b トルテカ文明 c オルメカ文明 d マヤ文明

設問Y 文中の下線部①～⑦に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選びなさい。

- ① 農業の歴史について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a 古代メソポタミアでは、河川の氾濫の予測や灌漑工事のための技術として暦法や数学が発達し、閏月をとまなう太陰暦(太陰太陽暦)や六十進法が用いられた。
- b 中国では、春秋・戦国時代を通じて鉄製農具や牛耕が徐々に普及した。
- c 中国の宋代には、江南を中心に湿地帯の干拓や占城稻と呼ばれる品種の導入などが行われ、農業生産力が増大した。
- d 18～19世紀のイギリスでは、穀物の増産を主目的として、従来の共有地や耕作地を非合法的に囲い込む運動が起こった。
- ② 産業革命とそれに関連する動きについて述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a ハーグリーブズが多軸紡績機(ジェニー紡績機)、アークライトが水力紡績機を発明した。
- b 産業革命期には、鉄の産地であるマンチェスターや、貿易港のリヴァプールなどの都市が発展した。
- c 19世紀はじめ、機械制工場によって生活をおびやかされた手工業者による機械うちこわし(ラダイト)運動が起こった。
- d 労働者の劣悪な労働・生活環境に疑問を抱いたオーウェンが、ニューラナークの紡績工場で社会主義的な経営を試みた。

- ③ 16世紀の地中海地域について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a スペイン＝ハプスブルク家のカルロス1世は、カール5世として神聖ローマ皇帝をも兼ねた。
 - b オスマン帝国がプレヴェザの海戦でスペイン・ヴェネツィアなどの連合艦隊を破った。
 - c スペイン＝ハプスブルク家のフェリペ2世がポルトガルの王位を兼ねて以降、両国の同君連合は1640年まで続いた。
 - d レパントの海戦で、フェリペ2世在位中のスペインがスレイマン1世在位中のオスマン帝国に勝利した。
- ④ メソポタミア文明を含む古代文明と古代国家に関する以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a サルゴン1世の率いるセム語系のアッカド人が、シュメール人の都市を征服した。
 - b ヒッタイト人は、カデシュでエジプト新王国と戦った後、バビロン第1王朝を滅ぼした。
 - c ロゼッタ＝ストーンには、古代エジプトで使用されていた神聖文字（ヒエログリフ）と民用文字（デモティック）のほか、ギリシア文字が書かれている。
 - d 古代ギリシアのスパルタでは、非ドーリア系の被征服民をヘイロータイ（ヘロット）と呼び、隷属民として農業に従事させた。
- ⑤ 「17世紀の危機」を象徴する三十年戦争について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a ベーメン（ボヘミア）の新教徒が、ハプスブルク家によるカトリック信仰の強制に反抗したことをきっかけに、三十年戦争が始まった。
 - b スウェーデン国王グスタフ＝アドルフがプロテスタントの立場から参戦した。
 - c ウェストファリア条約によって、アウクスブルクの宗教和議の原則が再確認されるとともに、カルヴァン派が公認された。
 - d スウェーデンは、ウェストファリア条約によってポーランド北部の西ポンメルンなどを獲得し、「バルト帝国」とも呼ばれる大国になった。
- ⑥ ヨーロッパ諸国による北アメリカ大陸での植民地獲得競争について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a オランダは、16世紀後半に西インド会社を設立し、アフリカ西岸とアメリカ大陸の間の通商に参入した。
 - b ユトレヒト条約の結果、フランスはハドソン湾地方やニューファンドランドをイギリスに譲った。
 - c イギリスがオランダからニューネーデルラント植民地を奪った結果、その中心地ニューアムステルダムはニューヨークと改称された。
 - d フランスは、フレンチ＝インディアン戦争と呼ばれる戦争に敗れた結果、北アメリカ大陸のすべての植民地を失った。
- ⑦ ここで言う「コロンブス交換」によってアメリカ大陸からはじめてヨーロッパ大陸にもたらされた農作物ではないものはどれか。
- a トウガラシ b サトウキビ c トマト d ジャガイモ

II 次の文章を読み、設問 X・Y の答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

4世紀以降のヨーロッパは、ゲルマン民族の大移動によってローマ帝国の分裂・崩壊という転換期を迎え、この過程で多くのゲルマン民族が繁栄と滅亡を繰り返した。そのなかでフランク族は、西ローマ帝国滅亡後の西ヨーロッパ世界の中心的な民族として発展していった。このフランク族のサリー支族から出たメロヴィング家の **A** は、5世紀末にフランク諸族を統一してゲルマン民族のブルグンドや西ゴートを破り、パリを中心にガリア全域を支配下におさめて、フランク王国（メロヴィング朝）という強国をつくりあげた。フランク王国がイタリアの東ゴート王国に対抗する強国となった要因には、かれがキリスト教正統派に改宗し、フランクの支配層が、ローマ教会と提携したことが挙げられる。**A** の没後、フランク王国は分割相統制などの影響もあって分裂と内乱を繰り返して国力を衰退させ、政治の実権は宮宰職（マヨル＝ドムス）を務めていたカロリング家に移った。このころ、イスラーム勢力が北アフリカ・スペインをへてガリアに侵入してきたが、時の宮宰カール＝マルテルが、732年のトゥール・ボワティエ間の戦いでこれを撃破して、西方キリスト教会をまもり、カロリングの威信を高めた。その子ピピン（3世）は751年、ついにメロヴィング朝を廃して王位につき、カロリング朝を開いた。当時のローマ＝カトリック教会は、東方のコンスタンティノープル教会と対立を深めていたが、ピピンもローマ教会との結びつきを強めて、西ヨーロッパ世界の統一を図った。

この時代の東ヨーロッパでは、東ローマ帝国（ビザンツ帝国）が、ギリシア正教とギリシア古典文化を融合した独自の世界をつくりあげ、西ローマ帝国滅亡後の世界においてさらに重要な役割を果たした。とくに6世紀中葉のユスティニアヌス帝の時代は内政や外交ともに繁栄を極め、地中海のほぼ全域においてローマ帝国の復活が図られた。しかし、ユスティニアヌス帝の死後、これまでの度重なる征服戦争で国力は低下し、イタリアでは **B** やフランク王国に領有権を奪われ、7世紀にはササン朝やムスリムの進出によって、支配地をいっそう縮小させた。一方、8世紀後半、ピピンの子カール大帝は **B** を征服し、大陸のゲルマン民族の大部分を統合することで、かつての西ローマ帝国に匹敵する領土を支配下に置いた。カール大帝は広大な領地を集権的に支配する政治制度や文化政策を実施し、またローマ教会との結びつきを重視して、800年のクリスマスの日に、教皇 **C** からローマ皇帝の冠を与えられ、「西ローマ帝国」を復活させた。これにより、ヨーロッパ世界は、ローマ教会・フランク王国を中心にした西ヨーロッパ世界、ギリシア正教会・ビザンツ帝国を中心にした東ヨーロッパ世界、さらにはイスラーム世界に分裂してゆき、あらたな中世ヨーロッパ世界がかたちづくられることになった。

設問 X 文中の空欄 **A** ～ **C** に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|-----------|------------|----------|------------|
| A | a アラリック | b クローヴィス | c テオドリック | d オドアケル |
| B | a ヴァンダル王国 | b ケルト人 | c フン人 | d ランゴバルド王国 |
| C | a ヨハネス12世 | b グレゴリウス1世 | c レオ3世 | d グレゴリウス7世 |

設問 Y 文中の下線部①～⑥に関する次の問いについて、最も適切な解答を a～dの中から一つ選びなさい。

- ① ローマ帝国に関連して述べた次の文の中で、正しいものはどれか。
- a オクタウィアヌスは、元老院から護民官という尊称を与えられ、これによって、ローマの帝政時代が始まった。
 - b 五賢帝の時代はローマ帝国の最盛期で、ハドリアヌス帝のときに領土は最大になった。
 - c マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝は、「哲人皇帝」とも呼ばれるストア派哲学者で、中国の『後漢書』の大秦王安敦は彼にあたとされる。
 - d 軍人皇帝時代には、短期間に多数の軍人出身の皇帝が擁立され、この混乱期にカラカラ帝は、勅令によって領内の全自由人に市民権を与えた。

- ② キリスト教やローマ＝カトリック教会に関連して述べた次の文の中で、正しいものはどれか。
- a キリスト教は、イエスをキリスト（救世主メシア）と認め、その教えを信じる宗教であり、十二使徒の筆頭であるパウロらによってローマ帝国各地に伝道された。
 - b キリスト教が教典とする『旧約聖書』『新約聖書』は、いずれもヘブライ語で記されたが、のちにギリシア語やラテン語に訳されて、ヨーロッパに伝えられていった。
 - c キリスト教の教父と呼ばれるアウグスティヌスは、スペインの出身であり、キリスト教に改宗して、キリスト教の教義の確立に努めた。
 - d ローマ＝カトリック教会は、西ヨーロッパ世界に普遍的な権威をもつようになり、教皇を頂点に、大司教・司教・司祭や修道院長などからなるピラミッド型の階層制組織をつくった。
- ③ 8世紀前半にガリアに侵入してきた当時のイスラーム王朝は、次のどれか。正しいものを選びなさい。
- a 後ウマイヤ朝 b アッバース朝 c ガズナ朝 d ウマイヤ朝
- ④ ユスティニアヌス帝に関連して述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。
- a ユスティニアヌス帝は、養蚕技術を取り入れ、絹織物産業の育成に努めた。
 - b ユスティニアヌス帝は、トリボニアヌスらに命じて、ローマ法を集大成した『ローマ法大全』を編纂させた。
 - c ユスティニアヌス帝の皇后テオドラは、低い身分出身の女性であり、皇帝の政務を補佐した。
 - d ユスティニアヌス帝は、聖像禁止令を發布し、偶像崇拜を禁止した。
- ⑤ ササン朝に関連して述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。
- a 建国の祖アルダシール（アルデシール）1世は、クテシフォンに首都を置いた。
 - b 2代皇帝シャープール1世は、シリアに侵入してローマ軍を破り、皇帝ウァレリアヌスを捕虜とした。
 - c ササン朝で国教となったゾロアスター教は、教典として『リグ＝ヴェーダ』を定めた。
 - d ホスロー1世の時代に、トルコ系遊牧民の突厥と結んで、エフタルを滅ぼした。
- ⑥ カール大帝に関連して述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。
- a カール大帝は、アーヘンに王宮を築き、アルクインらの学者を優遇して、のちにカロリング＝ルネサンスと呼ばれる文芸復興に努めた。
 - b カール大帝は、中央集権化政策をうちだし、全国を州に分けて各州に長官である伯を任命し、さらに王直属の巡察使を派遣して伯を監督させた。
 - c カール大帝は、ザクセン人を服従させたが、これを題材に『ローランの歌』という武勲詩がつくられた。
 - d カール大帝は、アルタイ語系遊牧民のアヴァール人を撃退した。

Ⅲ 次の文章を読み、設問 X・Y の答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

東アジア大陸部には、中国青海省に発し、東流して東シナ海に流れ出る中国最長の河川である長江、同じく青海省に河源地をもち、東流して渤海湾に注ぐ中国第2の長さの河川である黄河が流れている。この両河川の間を東流し、黄海に入る河が淮河である。また淮河の河源地近くの河南省西部から西の甘肅省東部に及ぶ、標高2000～3000mの山脈が秦嶺山脈である。この淮河と秦嶺山脈を結ぶ東西の線を秦嶺・淮河線と呼ぶ。この線は年間降水量1000mmの等量線とだいたい一致し、この線以北が華北で比較的乾燥した畑作地帯、以南が華南で湿潤な水田地帯となっている。耕作穀物の相違は食文化の相違を生み、さらに歴史展開の違いにもつながり、中国が政治的に分裂するときにはこの線が境となることが多い。

秦はこの線の南北に所在した戦国の諸国を滅ぼして中国を統一し、漢がそれを引き継いだ。3世紀初に後漢が崩壊した後、魏が建国されたが、その支配領域はおおむねこの線の北側に限られ、南側には東の呉と西の蜀がそれぞれ独立した。1世紀から続く非漢人の中国への流入の激化により、4世紀初には五胡十六国時代となり、非漢人による小国分立状況となったが、そうなのは主としてこの線の北側であった。一方、南側では西晋を引き継いだ東晋によって漢人貴族社会が形成された。A の建国した北魏が五胡十六国の分裂を統一したが、その支配領域もおおむねこの線の北側であり、南側は東晋を引き継いだ漢人王朝である南朝の支配が続いた。秦嶺・淮河線での分立が解消されるのは、北朝の隋が南朝を滅ぼした589年であった。

隋の統一は唐に引き継がれたが、唐は907年に滅亡し、五代十国の分裂時代となった。この時も後梁などの五代の5つの王朝が交代したのは秦嶺・淮河線の北側であり、呉・南唐・呉越など十国の多くは南側で興亡した。この分裂は北宋によって終結したが、北宋は12世紀、遼を滅ぼした女真族の金による靖康の変によって都の開封が陥落し、欽宗が囚われて滅亡した。その際、南下した金の支配はほぼこの線の北側に止まり、南側には欽宗の弟である B が南宋を再建し、金と南宋は秦嶺・淮河線を境に対峙した。1234年にモンゴルの C が金を滅ぼしたが、モンゴルも当初はこの線あたりで南宋と対峙した。1276年、元が都臨安を占領したことで南宋は滅亡し、この秦嶺・淮河線での分裂はひとまず終わった。

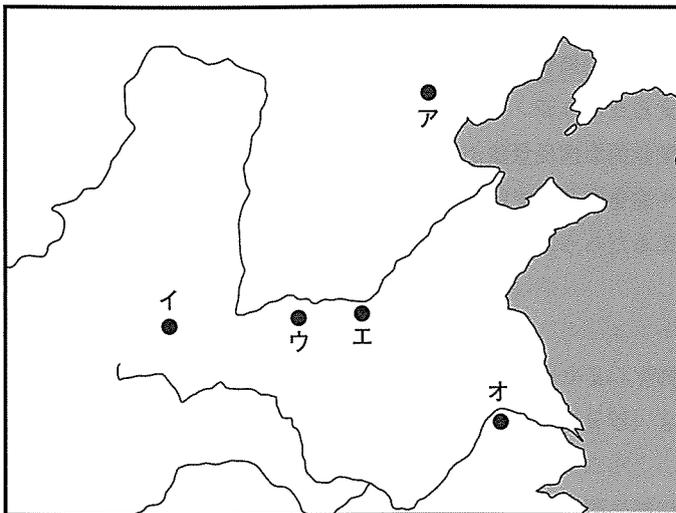
設問 X 文中の空欄 A ～ C に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|-------|
| A | a 高車 | b 匈奴 | c 鮮卑 | d 柔然 |
| B | a 玄宗 | b 徽宗 | c 太宗 | d 高宗 |
| C | a フビライ | b オゴタイ | c ハイドゥ | d モンケ |

設問 Y 文中の下線部①～⑥に関する次の問いについて、最も適切な解答を a～dの中から一つ選びなさい。

- ① 黄河中・下流域では、前6000年ごろまでには農耕が始まっていたと言われている。この後の黄河中・下流域の農耕文化に関する説明として、正しいものはどれか。
- a 薄手の黒色磨研土器（黒陶）を特色とし、石器や貝器などを併用する竜山文化が現れた。
 - b 半地下式住居跡や彩色文様の土器などが出土する、河姆渡遺跡が発見されている。
 - c 青銅製の「縦目仮面」や黄金製品を特徴とする三星堆遺跡が発見されている。
 - d 高床式住居や灰陶の使用、牛や馬の家畜化などを特色とする仰韶文化が現れた。
- ② 魏およびその事実上の創始者である曹操、その息子曹丕に関する説明として、誤りを含むものはどれか。
- a 曹操は長江中流の赤壁での戦いで、劉備・孫権の連合軍に敗北した。
 - b 曹丕は後漢の献帝から禅譲の形式で帝位を奪い、魏の皇帝となった。
 - c 魏は郷举里選に代わる官吏任用制度である九品中正を導入した。
 - d 魏は後漢末の戦乱で荒廃した農業生産を回復するため、均田制を実施した。

- ③ 五胡十六国に関する説明として、誤りを含むものはどれか。
- a 「五胡」は漢民族ではない諸民族を意味するが、その中には羯や突厥が含まれる。
 - b 西晋は「五胡」の民族が起こした永嘉の乱によって滅亡した。
 - c 「十六国」はこの時期に華北に興亡した小国の総称であり、その中には西魏は含まれない。
 - d 五胡十六国時代には、西域出身の仏図澄や鳩摩羅什が仏教の布教に努めた。
- ④ 南朝に関する説明として、正しいものはどれか。
- a 南朝とは華南を支配した宋・齊・梁・燕の4つの王朝の総称である。
 - b 南朝の4つの王朝は、いずれも現在の上海である建康を都とした。
 - c 倭の五王がたびたび南朝の王朝に朝貢し、官号や爵号を受けた。
 - d 南朝の王朝の皇太子であった昭明太子が、地理書である『水経注』を編纂した。
- ⑤ 五代の5つの王朝のうち、後唐は洛陽、その他の4つの王朝は汴州（開封）を都とした。それぞれの位置について、下の地図上での組み合わせとして正しいものはどれか。
- a 洛陽＝ア 汴州＝イ
 - b 洛陽＝ア 汴州＝オ
 - c 洛陽＝イ 汴州＝エ
 - d 洛陽＝ウ 汴州＝エ



- ⑥ 金と南宋の関係に関する説明として誤りを含むものはどれか。
- a 秦檜は靖康の変で金に連行されたが、帰国後、南宋の宰相として金との講和を唱えた。
 - b 南宋の武将で主戦派の岳飛は、宋の再建を志して金への抗戦を主張した。
 - c 秦檜と岳飛の対立は秦檜が勝利し、岳飛は弾圧されて獄死した。
 - d 南宋と金は澶淵の盟を結び、南宋は金に対して臣下の礼をとり、毎年、南宋から金に多額の銀と大量の絹が送られることになった。

IV

次の文章を読み、設問X・Yの答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

平等な市民から成る国民が主権を持ち政治に関わる「国民国家」は、極めて近代的な理念である。

フランスでは、特権身分と対立した第三身分の代表は「国民議会」を自称し、ラ＝ファイエットらの起草した人権宣言（「人間と市民の権利の宣言」）を採択した。**A**でフランス軍がプロイセン軍に初めて勝利したのちに国民公会が成立すると、王政の廃止と共和政（第一共和政）が宣言された。フランス革命は、職業や地位、住む地域の違いによる集団を解体するとともに、それらを国民として統合し、国民全員が主権を持ち政治に参加する民主主義の基礎をもたらした。また文化や教育は、人々の帰属意識を国家へと向け国民の統合を図るナショナリズム的な役割を担うようになった。

イタリアやドイツで国民国家が成立するのは19世紀後半のことである。イタリアの統一はサルデーニャ王国から始まる。イタリア統一戦争やガリバルディによる両シチリア王国占領の末、トリノを首都としてヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世を王にイタリア王国が成立する。イタリア王国はヴェネツィアと教皇領を併合したのちローマに遷都したが、トリエステや南チロルを「未回収のイタリア」と呼び、オーストリアと対立した。

ドイツの統一はプロイセン王国を中心に展開された。ヴィルヘルム1世のもとで首相となったビスマルクは、鉄血政策を押し進め、軍備を拡張した。プロイセン王国はデンマーク戦争、プロイセン＝オーストリア戦争（普墺戦争）、プロイセン＝フランス戦争（普仏戦争）に勝利し、ドイツ帝国が成立する。

大ドイツ主義と小ドイツ主義の対立や「未回収のイタリア」からも分かるように、国民国家の成立は、その勢力範囲をめぐる国家間の戦争を多発させることとなる。誰を国民とし、いかなる場所に国境を定め、いかなる地域を領土と見なすのか。19世紀末から激化する帝国主義的対立と植民地争奪、そして20世紀における二つの大戦と民族紛争の遠因は、この国民国家の成立によってもたらされたと言えるだろう。

新型コロナウイルス感染症流行以後、各国で閉鎖的な国民意識がますます横行するようになった。またグローバル化とともに増加する移民や難民の状況は、悪化の一途をたどっている。国民国家を構成する国境、領土、そして国民をいかに考えるかが喫緊の課題となりつつあると言えるだろう。われわれは、国民国家成立の歴史を問い直すことで、現在の問題や課題を考えねばならない。

設問X 文中の空欄**A**に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選びなさい。

- a ヴァレンヌ b マルセイユ c ヴァンデー（ヴァンデ） d ヴァルミー

設問Y 文中の下線部①～⑦に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選びなさい。

- ① 人権宣言（「人間と市民の権利の宣言」）はすべての人間の自由と平等を謳ったが、当初は女性差別や奴隷制が温存されていた。ジェンダーや「人種」の問題に関連する以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a オランプ＝ド（ウ）＝グージュは『女性の権利宣言』を刊行し、女性にも男性と同等の権利が与えられるよう訴えた。
- b ハイチはトゥサン＝ルヴェルチュールによる反乱から発展した独立運動によって独立し、奴隷制を廃止した。
- c ブラジルでは20世紀前半に奴隷制が廃止され、帝政から共和政に移行した。
- d トルコ共和国の初代大統領であるムスタファ＝ケマルが女性参政権を承認した。
- ② ナショナリズムに関連する以下の文のうち、正しいものはどれか。
- a 19世紀前半に始まる文学や美術における自然主義は、言語や伝統に民族（国民）の精神が宿っていると考えられる傾向を示し、国民国家の形成に寄与した。
- b レザー＝ハーンによって開かれたパフレヴィー朝は、のちに国名を他称のペルシアからイランに変更してナショナリズムを鼓舞した。
- c ベトナムではファン＝ボイ＝チャウ（ボイチャウ）を中心にフランスからの独立と立憲君主政樹立を目指す革命会が組織され、日本にも支援を求めた。
- d 1919年の三・一独立運動をきっかけに、日本は朝鮮の統治方針を「武断政治」から「文民政治」へと転換した。

- ③ ヨーロッパにおける国境や領土に関連する以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- ウィーン体制ではスイスの永世中立が承認され、オーストリア帝国とプロイセン王国の全域を含むドイツ連邦が成立した。
 - 1878年のベルリン会議では、ルーマニア・セルビア・モンテネグロの独立が承認され、イギリスがキプロスの行政権を得た。
 - ヴェルサイユ体制で国際連盟の管理下に置かれたザール地方は、全権委任法によるナチ党の一方独裁確立後に住民投票によってドイツに編入された。
 - ユーゴスラヴィアでは1990年代に解体が進み、アルバニア系住民の多く住むセルビアのコソヴォ地区でも分離・独立をめぐる紛争が勃発した。
- ④ ビスマルクは「公正な仲介人」を自称して、アフリカの植民地化に関する列強の利害を調整した。列強の植民地や領有地、保護国に関連する以下の文のうち、正しいものはどれか。
- 1880年頃から20世紀初頭までのアフリカ分割によって、エチオピア帝国を除くアフリカの全地域が植民地と化した。
 - ラタナコーシン（チャクリ）朝時代のタイでは、ラーマ4世が西洋諸国への門戸開放を進め、ラーマ5世（チュラロンコン）がスペインとフランスの勢力均衡を図って独立を維持した。
 - オセアニアで繰り広げられた植民地争奪において、ニューギニア島はオランダ・ドイツ・イギリスによって分割された。
 - ロシアは南下政策を推進してブハラ＝ハン国とコーカンド＝ハン国を保護国とし、ヒヴァ＝ハン国を併合した。
- ⑤ 帝国主義的対立と植民地争奪のなかで、強国は世界的にその支配を拡げていくこととなった。帝国主義的支配に関連する以下の出来事ア～エが、年代順に正しく並んでいるものはどれか。
- ア ブール人（アフリカーナー）に対してイギリスが南アフリカ戦争を開始した。
 イ 遼東半島、台湾、澎湖諸島の日本への割譲を取り決めた下関条約が結ばれた。
 ウ アメリカがフィリピンをスペインから獲得した。
 エ イタリア軍がアドワでエチオピア軍に大敗した。
- a ア→エ→ウ→イ b ウ→エ→ア→イ c イ→エ→ウ→ア d エ→ア→イ→ウ
- ⑥ グローバル化における国際問題や地域統合に関連する以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- アフリカ統一機構（OAU）がヨーロッパ連合（EU）をモデルとしてアフリカ連合（AU）へと改組され、改組当初にはアフリカ大陸すべての独立国が参加した。
 - ストックホルムで国連人間環境会議が開催され、国連環境計画が発足した。
 - ヨーロッパ自由貿易連合（EFTA）の結成を主導したイギリスは、のちにヨーロッパ経済共同体（EEC）に加盟申請したが、フランスのド＝ゴール大統領による強い反対にあった。
 - バグダード条約機構（中東条約機構、METO）は、イラクが脱退したのち中央条約機構（CENTO）と改称した。
- ⑦ 移民や難民を含む人の移動や文化の交流、あるいは物流について述べた以下の文のうち、正しいものはどれか。
- 19世紀初めにイギリスに併合されたスコットランドでは、ジャガイモ飢饉と呼ばれる19世紀半ばの飢饉をきっかけに、多くの人々が移民として土地を離れた。
 - オスマン帝国ではイスタンブールを中心にトルコ＝イスラーム文化が栄え、東方正教会の総本山であったハギア＝ソフィア大聖堂は、スレイマン＝モスクというイスラーム教モスクに改修された。
 - スーダンでは1970年代にクーデタによってハイレ＝セラシエ皇帝が退位して社会主義が宣言されたが、経済改革に失敗して多数の難民を出した。
 - 「鎖国」という言葉は、江戸時代の日本における貿易独占と渡航制限の状態を表すために19世紀前半以降に使われるようになったものである。

V

次の文章を読み、設問X・Yの答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

2025年には日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催が予定されているが、万国博覧会の歴史は19世紀にさかのぼる。万国博覧会の始まりとされるのは、^① ヴィクトリア女王治世のロンドンで、1851年に数十カ国が参加して開催された国際博覧会である。メイン会場となった水晶宮には、鉄とガラスが建材として使用されて大きな話題を呼んだ。それと競うかのように、^② 第二帝政下のフランスでも、1855年に同国初の万国博覧会がパリで開催された。^③ 第三共和政への移行後も、パリでは万国博覧会が何度も開催され、フランス革命100周年を記念する万国博覧会では鉄骨を編むようにして作られたエッフェル塔が建造され、A年の万国博覧会では「電気館」が名物となり、電気の時代の到来を印象づけた。これらの万国博覧会は、ヨーロッパの芸術家たちにも少なからぬ影響を与え、日本の文物も「ジャポニスム」として広く受容されるきっかけとなった。^⑤

だが、万国博覧会とは、開催国や参加国が、自国の産業や新技術を紹介する場であったと同時に、それらの展示物を所有している自国の国力を、諸外国や自国の国民たちに誇示する場としても機能していた。とりわけ、^⑥ 海外進出で得た植民地の「エキゾチック」な物産や工芸品の展示は、自国の帝国主義的な拡大を喧伝する役割を担っていた。しかも、帝国主義的なまなざしが求める対象は、物品には限られなかった。その極端な例と言えるのが、万国博覧会から植民地展示のみを独立させ、パリのヴァンセンヌの森で開催された1931年の国際植民地博覧会である。現地人を仮設の村で生活させたその展示は、「見世物」的な要素を多分に含み、^⑦ 人種主義の極みとして後世の非難の対象となっている。

以上のように、万国博覧会とは、国家のさまざまな思惑が交錯する場であった。2025年の日本開催では、帝国主義や人種主義、科学技術の盲目的な推進といった負の歴史への反省を踏まえ、人間のよりよい未来を展望させるような国際博覧会となることを祈りたい。

設問X 文中の空欄Aに入る最も適切なものをa～dの中から一つ選びなさい。

- a 1893 b 1900 c 1904 d 1926

設問Y 文中の下線部①～⑦に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選びなさい。

- ① 以下の文のうち、ヴィクトリア女王治世の出来事ではないものはどれか。
- a イギリス東インド会社が解散した。
- b ニュージーランドが自治領になった。
- c デイズレーリがスエズ運河会社株を買収した。
- d グラッドストーンが最初のアイルランド自治法案を議会に提出した。
- ② 第二帝政とその時代について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a サルデーニャ王国のカヴールは、フランスとプロンビエールの密約を結び、オーストリアと開戦し、サヴォイアを獲得した。
- b 宣教師殺害事件を口実にサイゴンを占領したフランスは、キリスト教布教の自由だけでなく、コーチシナ東部3省の割譲を阮朝に認めさせた。
- c セーヌ県知事オスマンが公安・衛生等の観点からパリ改造を行った。
- d フランス軍のメキシコ出兵にともない、オーストリア皇帝の弟マクシミリアンがメキシコ皇帝につくが、先住民出身のファレス率いる軍に処刑された。
- ③ 第三共和政とその時代について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a 普仏戦争で第二帝政が崩壊した後、臨時政府とは別にパリ＝コミューンと呼ばれる自治政府が出現するが、ティエール率いる臨時政府はこれを弾圧し、崩壊させた。
- b 1905年の政教分離法によって、フランス国家の宗教的中立が定められた。
- c ユダヤ系軍人ドレフスをめぐる冤罪事件が起きた際、『居酒屋』で知られる作家ゾラは彼を擁護する論陣をばった。
- d フランスは1881年にモロッコを、1912年にチュニジアを保護国化した。

- ④ 電気の利用について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a モールス（モース）が電信機を発明した。
 - b ファラデーが電磁気学の基礎となる法則を発見した。
 - c ベルが無線電信を発明した。
 - d エディソンが白熱電灯（球）を発明した。
- ⑤ 19～20世紀のフランスの芸術家について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a 文学ではボードレールが内面に着目する象徴主義の先駆者となった。
 - b マネ、モネ、クールベは光と色彩を重視する印象派と呼ばれる画風を打ち出した。
 - c 画家のミレーは働く農民の日常を写實的に描き出した。
 - d ドラクロワはギリシア独立戦争を題材に『キオス島の虐殺』を描いた。
- ⑥ ヨーロッパ列強の海外進出について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a 宋代の中国で実用化され、ムスリム商人を経て伝えられた羅針盤は、ヨーロッパ列強の海外進出に寄与した。
 - b オーストラリアは、タスマンやクックによってヨーロッパに知られるようになったが、先住民のアボリジニ（アボリジニー）は迫害・病気（疫病）によって減少していった。
 - c 大西洋の三角貿易において、西アフリカが輸出する主要なものは砂糖、綿花、タバコ、コーヒーであった。
 - d アジアの三角貿易では、インドにはイギリスの綿製品が、中国にはインド産のアヘンが、イギリスには中国の茶が輸出された。
- ⑦ 人種主義について述べた以下の文のうち、誤りを含むものはどれか。
- a 『種の起源』を著したダーウィンが唱えた進化論は、帝国主義や植民地主義を正当化する理論として利用されることがあった。
 - b 南北戦争後のアメリカでは奴隷制が撤廃され、黒人男性にも投票権が与えられたが、KKK（クー＝クラックス＝クラン）などの秘密結社による非合法的な黒人迫害が続いた。
 - c オーストラリアでは、19世紀中頃に金鉱が発見されて移民が増加したため、当時では先進的に、有色人種を差別する白豪主義から多文化主義への転換が行われた。
 - d ロシアでポグロムと呼ばれるユダヤ系住民への集団暴行・虐殺が頻発したこともあり、その後ヨーロッパでは、ユダヤ人国家の建設をめざすシオニズムという運動が盛り上がりを見せた。

〔以下余白〕